



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月27日

上場取引所 東

上場会社名 DCMホールディングス株式会社
 コード番号 3050 URL <http://www.dcm-hldgs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(氏名) 久田宗弘
 (氏名) 鎌田清孝
 配当支払開始予定日

TEL 03-5764-5214
 平成25年11月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	223,775	△1.3	10,726	△12.6	10,708	△12.7	6,360	△10.5
25年2月期第2四半期	226,612	△2.0	12,277	△14.2	12,272	△13.8	7,102	30.5

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 7,112百万円 (7.8%) 25年2月期第2四半期 6,596百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	45.20	—
25年2月期第2四半期	49.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	345,485		151,290		151,290	43.8
25年2月期	305,912		145,522		145,522	47.6

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 151,290百万円 25年2月期 145,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	9.00	—	10.00	19.00
26年2月期	—	10.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	433,900	△0.1	17,000	△10.7	16,700	△11.5	9,300	△12.1	66.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年9月27日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	142,576,627 株	25年2月期	142,576,627 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	1,760,732 株	25年2月期	1,916,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	140,715,415 株	25年2月期2Q	144,961,730 株

(注)自己株式数には、従業員持株ESOP信託口の所有する当社株式が含まれております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報	9
4. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策への期待感から円安・株高を背景に、輸出企業を中心として業績改善が見られました。一方で輸入資材、原油等の価格上昇、新興国の成長鈍化や欧米諸国における財政問題といった景気下振れリスクが存在し、景気回復には、なお時間を要するものと思われま

す。小売業におきましても、景気回復への期待感から、一部では消費者マインドの回復に明るさが見られるものの依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については15店舗、退店については5店舗を実施いたしました。これにより当連結会計期間末日現在の店舗数は524店舗（カーマ134店舗、ダイキ159店舗、ホームマック231店舗）となりました。

販売面においては、4月から5月中旬にかけての低温により、園芸用品の売上が伸び悩みました。また防災、節電関連用品の売上は低調に推移しましたが、猛暑により冷房用品は堅調に推移しました。このような中、プライベートブランド商品「DCMブランド」の導入推進や販売促進企画を商品部門ごとに展開し、新規需要の獲得に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は2,237億7千5百万円（前年同期比98.7%）、営業利益は107億2千6百万円（前年同期比87.4%）、経常利益は107億8百万円（前年同期比87.3%）、四半期純利益は63億6千万円（前年同期比89.5%）となりました。

なお、セグメントごとの業績については、9ページ「セグメント情報」をご覧ください。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸・エクステリア部門

園芸用品では、低温などの天候不順や節電需要の減速などにより全体的に売上が伸び悩みましたが、エクステリア用品は小型収納庫や高品質の人工芝を中心に、天候に左右される事なく好調に推移しました。その結果、売上高は414億7千7百万円となりました。

② ホームインブルーメント部門

昨年の爆弾低気圧による需要の反動から波板、雨どいなどの建築資材や節電需要の減速により網戸関連などの季節商品の売上が伸び悩みましたが、ブランド安全靴やスポーツブランドシューズなどの販売促進に取り組んだ企画は好調でした。その結果、売上高は375億8百万円となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

サイクル・レジャー用品では、重点的に販売に取り組んだ電動自転車やレジャーチェア、バーベキューテーブルなどのキャンプ関連用品が好調でした。ペット用品では、ドライフードの売上が伸び悩みましたが、半生タイプやパウチタイプのフードが好調でした。その結果、売上高は349億6千9百万円となりました。

④ ハウスキーピング部門

日用品では、清掃用品や浴用品の売上が伸び悩みましたが、冷水筒や断熱タンブラーなどの季節商品、DCMブランドの圧縮袋や衣類ハンガーを中心とした整理用品が好調でした。食品部門では、販売を強化した米類やDCMブランドの飲料が好調でした。その結果、売上高は606億9千7百万円となりました。

⑤ ホームファニシング部門

インテリア、寝具用品では、い草製品やすだれなどの季節商品の売上が伸び悩みましたが、品揃えを拡充したインド綿素材のクッションや高反発マットレスなどが好調でした。家具収納用品では、品揃えを拡充した高齢者向け座椅子などが好調でした。その結果、売上高は167億6千9百万円となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

家電用品では、扇風機の売上が伸び悩みましたが、6月以降気温の上昇に伴いエアコンが好調でした。また、住宅設備関連では、リフォームキャンペーンやキッチンコンロフェアを実施したことにより、温水洗浄便座や洗面化粧台、ビルトインコンロが好調でした。その結果、売上高は196億1千万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、当年8月31日が金融機関休業日であったため現金及び預金が増加したこと、また新規15店舗の出店などにより有形固定資産や商品在庫が増加したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して395億7千2百万円増加し、3,454億8千5百万円となりました。

負債残高は、同じく金融機関休業日の影響による買掛金等の未決済残高が増加したことなどから、負債合計は前連結会計年度末に比較して338億4百万円増加し、1,941億9千4百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払いや四半期純利益の増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して57億6千8百万円増加し、1,512億9千万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益105億6千8百万円、減価償却費50億2千7百万円、売上債権の増加額16億6千万円、たな卸資産の増加額55億6千1百万円、仕入債務の増加額238億9百万円、法人税等の支払額28億2百万円などにより、310億8百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、新規出店などの有形固定資産の取得による支出153億7千5百万円、敷金及び保証金の回収による収入10億7千6百万円および差入による支出19億9千4百万円などにより、164億1千4百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の減少額101億円、長期借入れによる収入250億円および返済による支出119億9千6百万円、配当金支払いによる支出14億5百万円などにより、14億2千5百万円の収入となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に比べ160億1千9百万円増加し、278億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月9日に公表いたしました業績予想につきましては修正を行っております。詳細につきましては、本日(平成25年9月27日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,203	28,219
受取手形及び売掛金	3,224	4,884
リース投資資産	2,495	2,457
商品	72,252	77,814
繰延税金資産	1,153	981
その他	5,479	6,036
貸倒引当金	△2	△0
流動資産合計	96,805	120,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,000	159,313
減価償却累計額	△88,836	△90,537
建物及び構築物（純額）	62,163	68,776
土地	70,222	73,474
リース資産	4,413	8,844
減価償却累計額	△566	△760
リース資産（純額）	3,846	8,084
建設仮勘定	2,084	1,795
その他	22,909	25,269
減価償却累計額	△17,006	△18,191
その他（純額）	5,902	7,078
有形固定資産合計	144,220	159,209
無形固定資産		
借地権	5,894	5,904
ソフトウェア	4,240	3,821
その他	198	200
無形固定資産合計	10,333	9,926
投資その他の資産		
投資有価証券	7,738	8,907
敷金及び保証金	41,341	42,029
繰延税金資産	1,672	993
長期前払費用	2,497	2,836
その他	1,364	1,249
貸倒引当金	△60	△59
投資その他の資産合計	54,552	55,956
固定資産合計	209,106	225,091
資産合計	305,912	345,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,229	65,039
短期借入金	37,650	27,550
1年内返済予定の長期借入金	21,404	22,415
リース債務	97	198
未払法人税等	2,619	3,544
繰延税金負債	7	1
賞与引当金	1,403	949
ポイント引当金	392	358
その他	10,377	12,218
流動負債合計	115,181	132,274
固定負債		
長期借入金	30,212	42,206
リース債務	4,345	8,576
繰延税金負債	542	884
再評価に係る繰延税金負債	209	209
退職給付引当金	458	49
役員退職慰労引当金	19	—
資産除去債務	1,299	1,305
長期預り金	5,529	5,565
負ののれん	92	82
その他	2,499	3,041
固定負債合計	45,208	61,920
負債合計	160,390	194,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	41,603	41,603
利益剰余金	95,706	100,660
自己株式	△781	△719
株主資本合計	146,528	151,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	908	1,669
繰延ヘッジ損益	11	2
土地再評価差額金	△1,925	△1,925
その他の包括利益累計額合計	△1,005	△253
純資産合計	145,522	151,290
負債純資産合計	305,912	345,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	223,926	220,898
売上原価	156,980	154,732
売上総利益	66,945	66,165
営業収入		
不動産賃貸収入	2,685	2,877
営業総利益	69,631	69,043
販売費及び一般管理費	57,353	58,317
営業利益	12,277	10,726
営業外収益		
受取利息	133	130
受取配当金	198	135
為替差益	104	227
その他	166	231
営業外収益合計	603	725
営業外費用		
支払利息	542	640
支払手数料	29	99
その他	36	4
営業外費用合計	608	743
経常利益	12,272	10,708
特別利益		
固定資産売却益	—	0
退職給付制度終了益	—	103
国庫補助金	—	36
特別利益合計	—	140
特別損失		
固定資産除売却損	189	185
投資有価証券評価損	55	—
減損損失	24	48
その他	2	45
特別損失合計	272	279
税金等調整前四半期純利益	12,000	10,568
法人税、住民税及び事業税	3,336	3,433
法人税等調整額	1,561	775
法人税等合計	4,897	4,208
少数株主損益調整前四半期純利益	7,102	6,360
四半期純利益	7,102	6,360

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,102	6,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△491	761
繰延ヘッジ損益	△15	△9
その他の包括利益合計	△506	752
四半期包括利益	6,596	7,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,596	7,112
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,000	10,568
減価償却費	4,876	5,027
減損損失	24	48
のれん償却額	8	—
負ののれん償却額	—	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,279	△453
受取利息及び受取配当金	△332	△265
支払利息	542	640
固定資産除売却損益 (△は益)	189	185
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,057	△1,660
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,180	△5,561
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,830	23,809
その他	△2,686	797
小計	11,936	33,126
利息及び配当金の受取額	332	265
利息の支払額	△544	△641
法人税等の支払額	△4,530	△2,802
法人税等の還付額	801	1,061
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,994	31,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,309	△15,375
有形固定資産の売却による収入	92	215
無形固定資産の取得による支出	△1,004	△412
敷金及び保証金の差入による支出	△942	△1,994
敷金及び保証金の回収による収入	1,120	1,076
投資有価証券の売却による収入	10	10
貸付金の回収による収入	35	92
その他	93	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,903	△16,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,950	△10,100
長期借入れによる収入	20,000	25,000
長期借入金の返済による支出	△10,952	△11,996
自己株式の取得による支出	△3,014	△1
配当金の支払額	△1,324	△1,405
その他	79	△72
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162	1,425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,071	16,019
現金及び現金同等物の期首残高	15,053	11,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,982	27,805

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	67,220	57,865	101,411	114	226,612	—	226,612
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	20,065	20,069	△20,069	—
計	67,220	57,867	101,413	20,180	246,681	△20,069	226,612
セグメント利益	3,278	2,049	6,680	1,958	13,966	△1,688	12,277

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△1,688百万円には、セグメント間取引消去△1,700百万円、その他11百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	カーマ	ダイキ	ホームマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	66,313	56,515	100,851	95	223,775	—	223,775
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	22,268	22,272	△22,272	—
計	66,313	56,517	100,853	22,364	246,048	△22,272	223,775
セグメント利益	3,155	1,649	5,579	2,408	12,793	△2,067	10,726

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,067百万円には、セグメント間取引消去△2,077百万円、その他10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸・エクステリア	41,901	18.7	41,477	18.8	66,338	15.5
ホームインブルーブメント	37,540	16.8	37,508	17.0	73,929	17.2
ホームレジャー・ペット	35,028	15.6	34,969	15.8	64,026	14.9
ハウスキーピング	61,362	27.4	60,697	27.5	118,971	27.8
ホームファニッシング	17,569	7.8	16,769	7.6	33,180	7.7
ホームエレクトロニクス	20,523	9.2	19,610	8.9	48,779	11.4
その他	10,000	4.5	9,866	4.4	23,577	5.5
合計	223,926	100.0	220,898	100.0	428,803	100.0

(注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸・エクステリア	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、植物、エクステリア、屋外資材他
ホームインブルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、住宅設備、電材・照明、AV情報機器他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他